



ひとりひとりが主役の
誇りあるものづくり

今泉ピーエスエム株式会社は、今泉工業株式会社(埼玉県熊谷市)の現地別法人として秋田県大仙市(旧仙北郡西仙北町)で1990年に設立。設立時から、製品加工に携わる全員が、工程ごとに担当者が固定される単能工ではなく、1人で全工程を手がける「多能工」として現場教育を受けている。そのため、自動改札機・貨幣処理機・半導体製造装置・医療機器等、分野を選ばない多品種少量の精密板金加工に対応可能な技術力を持つ。

多能工が支える強さ

製造業の現場で“多能工化”、一般的にマルチスキル化とも称される取り組みのメリットは大きい。1人が1つの職務を受け持つ単能工に対し、1人で異なる作業や工程を遂行する技術を持つ多能工が多いほど、繁忙期など進捗に併せて必要な製品に適切な人数を配分できる。特に、高品質の多品種少量生産を生き残り戦略に掲げる中小企業の現場において、柔軟な生産体制を維持しつつ全体的な業務量を平準化できる多能工化は、企業にとってのリスク管理にもなる。

この多能工化を設立時から取り入れている企業が、秋田県大仙市の今泉ピーエスエム株式会社だ。同社は埼玉県熊谷市にある今泉工業株式会社の現地別法人であり、代表は共に今泉寿生氏が務める。現会長である先代の時代に縁あって秋田に会社を設立し、今泉工業と同様、多様な精密板金加工を得意とする。

「大量生産の効率は単能工方式には敵いませんが、弊社は

製品を数個からでも受注できるのが強み。全工程を受け持つことで、緊急案件の対応や細かな改善も現場単位で実行できます。何よりも、自分の手で最初から最後まで携わるほうがものづくりの楽しさを感じられるでしょう」。

今泉代表自身も現場上りの経営者。祖父が興した工場を継いでほしいと祖母の強い願いで工業高校に進学したが、当初は父の背中を追うことは考えていなかった。卒業後、大手の板金や溶接工場での修行を経て、ものづくりの楽しさや多様な業務を自ら考え学ぶことの大切さを感じた。

「父を小さな町工場の社長としか思っていなかった時期もありましたが、今では従業員とその家族を養ってきた経営手腕を尊敬しています。祖父と父の後を継いで4年目。代表の立場になってまだ日は浅いのですが、俯瞰的に眺めることで改めて皆のスキルの高さを感じていますし、日々その技術で会社を支えてくれる彼らに心から感謝しています」。

迎える組織の変遷期 次の10年を見据えて

今泉代表が誇らしげに語るように、今泉ピーエスエムの従業員の“多能工ぶり”は他社とは一線を画す。実際、生産加工に携わる従業員の多くが複数種の資格を有し、注文を受けた製品の加工プログラム作成から仕上げ～完成までを一手に担う。一人ひとりが技術者として真剣にものづくりと向き合う姿勢は、仕上がりの質からも見て取れる。

そんな中、今泉代表が力を入れるのは、次の10年を見据えた組織体制の再構築だ。全工程を任せられる技術は一朝一夕には身につかない。若手に技術を継承する場を設けるべく、2018年12月には主に中堅技術者以上を対象とした大きな組織変更を行った。

「多能工化で重要なのは各個の能力を見極めて業務を振り分け、統制を取ること。個々の能力が高いからといって各自で好き勝手にやっちゃって現場がうまく回りません。従業員にも一人ひとりの立ち位置をもう一度考えてほしい、と話しました」。



1~2 個々の業務が交錯する工場内では全体管理とコミュニケーションが重要。
3 大小問わず、精密な加工を得意とする。

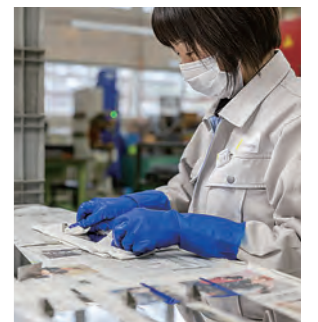
4 工場の一部では自動化を採り入れ、効率向上と省人化を図る。
表紙 信頼する社員とともに。

現場を知る経営者として、技術的にも相対する人間としても信頼している従業員だからこそ、この変化に大きな期待を寄せる。埼玉と秋田を行き来する合間の僅かな時間でも、従業員とのコミュニケーションは欠かさず、元技術者の目線を生かして自ら設備メーカーと交渉を行ったり、従業員が必要な資格を取りやすいような環境を整えたりと、経営者が担当する工程も多様で、重責が添う。

「皆の協力で事業は良い方向に進み始めています。喫緊の課題は“人”。人材不足が盛んに叫ばれる昨今ですが、特に10代から20代前半の採用が厳しくなっています。“人”がいないと技術力の維持はもちろんのこと、事業自体の継続が危うくなる。人材への計画的な投資が必要だと感じています」。

お客さまとともに 自分たちも幸せに

課題は多く、経営は未だに手探りだと謙遜する今泉代表だが、従業員を大切に、敬意と感謝の念を忘れない姿勢は優れた



リーダーの資質だ。今頑張っている従業員もこの先自社を選んでくれるであろう若き担い手も一緒に、今泉ピーエスエムの一員になったからには幸せになって欲しいと笑顔を見せる。

「皆が幸せと感じるということは、つまり業績が安定しているのならば、お客さまも満足して下さっている証拠。今は、従業員の結婚や子どもの誕生といった報告を聞くのが何よりも嬉しいです」。

掲げる経営方針は“お客さまとともに自分たちも幸せになる”こと。内へ外へと広く浸透する今泉代表の熱意とともに、“多能工”スタイルに裏付けられた自律と自尊を伴ったものづくりが新たな時代を創りだす。



**代表取締役
今泉 寿生**
いまいずみ としお

今泉ピーエスエム株式会社
〒019-2111
秋田県大仙市土川字刈布沢24-25
TEL. 0187-75-1350
FAX. 0187-75-1355
<http://psm.co.jp/>

設立/1990年
●資本金/1,000万円 ●従業員数/19名
●営業品目
精密板金(Precision Sheet Metal)
自動改札機、貨幣処理機、半導体製造装置
電源装置関係の精密板金部品
筐体及機構部品